

科目名	真言密教特殊講義 I (密教瞑想)			学期	後期	単位数	2	担当者	佐藤隆彦
副題	-								
ナンバリング	M3-01-314	授業方法	講義	実務経験の有無			無	関連DP	2
<b>授業の目的と概要</b>									
阿字観は、阿の一字を徹頭徹尾観ずる密教の観法である。通常の密教実践は出家者にだけ許されているが、阿字観は在家の人でも修することができる。密教観法の一つである阿字観について一般的な講義をおこなう。阿字観の実修も実際に行うとともに生死観についても言及する。後半は聖地巡礼で高野山を巡る。									
<b>授業の到達目標</b>									
密教の観法を通して、密教が持つ世界観、死生観に触れ、それを現代的視点で考えることができるようになる。									
<b>授業計画</b>									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 密教瞑想とは</li> <li>2. 阿息観の理論</li> <li>3. 阿息観の実践方法</li> <li>4. 阿字の哲学</li> <li>5. 阿息観の実習 (阿息観)</li> <li>6. 阿息観の実習 (臨終瞑想法としての阿息観)</li> <li>7. 密教における死生観 (臨終の環境をいかに整えるかについて)</li> <li>8. 密教における死生観 (臨終正念)</li> <li>9. 月輪観</li> <li>10. 阿字観</li> <li>11. 聖地巡礼</li> <li>12. 聖地巡礼</li> <li>13. 聖地巡礼</li> <li>14. 聖地巡礼</li> <li>15. まとめ</li> </ol>									
<b>準備学習 (予習・復習) ・時間</b>									
事後学習として、授業で習得したことを整理し、身に付けること。(120分)									
<b>テキスト</b>									
①山崎泰廣著『真言密教阿字観瞑想入門』(春秋社) その他コピー配布									
<b>参考書・参考資料等</b>									
『大日経』、『大日経疏』、『定本弘法大師全集』等									
<b>学生に対する評価</b>									
レポート(80%)、授業参加の積極性(20%)									
<b>ルーブリック (目標に準拠した評価)</b>									
(C) 密教の基本的文献を調査し読むことができる。									
(B) 密教の死生観について基本的内容を理解できる。									
(A) 密教の死生観についてその内容を深く理解できる。									
(S) 密教の死生観を踏まえたうえで、自らの死生観を論理的に他者に対して述べる事が出来る									
<b>課題に対するフィードバックの方法</b>									
講義のまとめり毎、実修毎にフィードバックを行う。									
<b>その他</b>									
楽に坐れる服装で出席のこと。匂いの強い化粧、ネックレス、イヤリングをしないこと。受講の間に、積尊の胸中、空海の悠大な悟境の片鱗に触れていただきたい。									
<b>実務経験のある教員が行う授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業内容か)</b>									